



今年は春の訪れが早いようです。法学類月報第 62 号では、3 月で退職される高秀成先生のエッセイ、法学部 0B 川岸誠治さんからの寄稿、就職活動体験記をお届けします。

◆◆教員エッセイ◆◆

第 27 回 高秀成先生（民法）

◆「金沢の天気イメージ」

初めて金沢を訪れたのは、富山での後輩の結婚式の帰りにふらりと立ち寄ったときでした。ほどなく、金沢大学の採用面接のために訪れたのが 2 度目でした。どちらも春の快晴でした。

そんなこんなで、恥ずかしながら、石川県が屈指の降水日数を誇ることを実際に住んでみるまですっかり忘れていました。突然の雨霰風雪にしたたか打たれたこと数限りありません。ただ、悪天候に見舞われながらも、秋の稲妻と雷鳴は荘厳で鮮烈でしたし、しんと降り積もる雪で街が輪郭を失っていく静かな光景はとても神秘的で印象深かったです。

それでもやはり、第一印象とは頑強なもので、自分のなかの金沢のイメージはいつも、初めて訪れたときの、新緑の兼六園や、うららかなせせらぎ通りとつながっているようです。二度目の訪問の際に喫茶店の窓からぼんやり眺めた近江町の様子は、陽気をまとっていて、面接前の緊張を幾分和らげてくれたことも、ありありと思い起されます。きっと、長い時間が経って、金沢の地を思い出すときには、まず最初に春の快晴を浮かべるのだらうと思います。

6 年半の間、ながあーくて短い、春を過ごしていたような気がします。いつも温かく接して下さった、先生方、職員の方々、本当にありがとうございました。そして、この間に逢い、たくさんのお話を学ばせてくれた、金沢大学の卒業生と在学生の皆様、本当にありがとうございました。（平成 31 年 4 月より大阪大学法学部へ）



高先生手作りの土人形。このキャラクターが、講義後の黒板に大きく描かれていたとの逸話も。

法学類月報の配信読者の方から、寄稿をいただきました。ありがとうございました！

昭和 61 年の卒業生です。月報第 61 号で榎見先生のご退官を知りました。まずはお疲れ様でございました。これで私がお指導いただいた先生は皆、金大を離れることとなります。卒業から 30 年以上が経つものだから当然とは思いつつも、感慨深いものがあります。当時



高岡から通っていた私は、ある日、金沢までの北陸線で先生と乗り合わせる機会に恵まれました。小一時間ほどのミニ講義で、法学 plus 就活の相談に乗っていただいた記憶があります。今でいうキャリア教育でしょう。

それほど熱心に勉強した学生ではありませんでしたが、多くの先生方に親しくご指導いただいたことが得がたい経験だったと思っています。

特に法律相談所の顧問の先生方との関りは思い出深いものです。佐々木先生の民事調停の調査に関わるエピソード、深谷先生のロジカルなお話、清田先生の学内にとどまらないご活躍等々、間近に接することができました。また徳本先生には法律相談所の他にゼミでもご指導いただきました。ケースメソッドスタイルのゼミでしたが、大した準備もせずに好き勝手にディスカッションしていたものだったと、今では冷や汗ものです。昨年の初夏、博多に出張した際には、九大の法科大学院に転じられた西山先生とも会食させて頂きました。ただ先生はお酒の飲めない九州男児ですので、私ばかりが杯を重ねておりました。いつまでたっても不肖のナントカです。

現在、企業の人事部門に所属していることから毎年多くの学生さんとお会いしますが、金大法学部（今は法学類ですか）のように先生方と学生たちの距離が近い大学はそうそうないと実感しています。学生の皆さんには、その良さをあらためて実感して頂ければうれしく思います。

川岸 誠治（昭和 61 年 3 月卒）

「大切にしていたこと」

この就職体験記を書くにあたり、何を書けばよいのか大変悩みましたが、就職活動を振り返って、私が大切にすべきだと感じたことを書くことにしました。就職活動が行き詰まったり、不安になった時、これがお役に立てばと思います。

まず、1 つ目は面接において、常に笑顔かつ自然体で臨むことです。面接で緊張するのは当然です。しかし、自分をアピールできるのも、その面接です。面接官の側も、和やかな雰囲気を作ろうという気持ちでいてください。その気持ちに乗り、常に笑顔で面接官との会話を楽しむという気持ちが大切です。そうすれば、自分の中でペースを作ることができ、志望動機など、伝えたいことを伝えやすくなります。また、自分を取り繕っても面

接官は容易に気づきます。今までの人生で形成された自分を信じ、自然体で臨むことが大切です。

そして 2 つ目は、適度な息抜きをすることです。就職活動は長期戦です。常に張り詰めた空気の中で生活していると、こころ一番というところで力を発揮できません。それを避けるために、“食べる”、“遊ぶ”など、自分なりの息抜きをすることが大切です。

就職活動は、自分の視野を広げ、なおかつ成長する場でもあります。色々な情報の中から自分にとって最適な選択をし、皆さんなりのゴールにたどり着けるよう応援しています。

法学類 4 年 室田秀介（株あおぞら銀行内定）



法学類 plus
AGO!



- 法学類の学生、卒業生、教員に関係するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、金沢大学法学類 Web サイトに掲載していますのでご覧ください。<http://law.w3.kanazawa-u.ac.jp//category/brochure/geppo>
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部 学生課 (n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp) までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。